

本紙ではアカデミック・サポートセンター(ASC)の学生支援体制の紹介や最新のASCの利用状況などを報告します。この創刊号では2011年度第1学期前半(4~6月)のASCの活動を中心に記事をお届けします。

ご挨拶

北海道大学では、今年度からの総合入試の導入にともない、初年次教育の充実と多様化するニーズへの対応を目的として、2010年10月にアカデミック・サポートセンター(ASC)を設置しました。私はセンター長の川端潤と申します。

ASCには、学生からの学部・学科選択や修学に関する相談を受け付け、関連する情報を収集・提供する「進路選択支援機能」、学習サポートやスキルセミナーを通して学生の主体的な学習活動を支える「学習支援機能」、および各種アンケートの実施とデータの集計・分析を通してフィードバックする「データ分析機能」の3つの機能があり、これらを相互に連携させた学生支援を行っています。



センター長 川端 潤
総合教育部ガイダンス(4月7日)

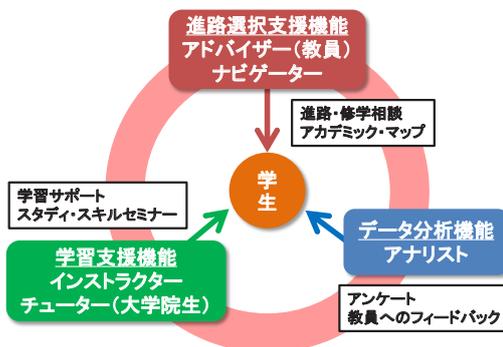
ASCの6名の専任スタッフ(ナビゲーター、インストラクター、アナリスト各2人)は北大で博士号を取得した若手研究者で、自らの経験と最新の知識に基づいて、学生の目線での支援を目指しています。また、あわせて広い見識を備えたベテラン教員である3人のアドバイザーが、進路選択の相談に応じています(裏のメンバー表を参照)。

これらのスタッフが、大学院生チューターや学内の他の学生支援組織、各学部相談員等とも連携して、学生一人一人の希望に添ったきめ細かいサポート体制を提供しています。教職員のみなさまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

本紙では、ASCの活動の最新情報をお届けしてまいります。内容についてご意見ご質問等ございましたらASCまでお寄せください。



3つの機能の相互連携による学生支援



進路・修学相談が大盛況

ASCでは、学部・学科選択や修学に関する相談を4月より開始しました。ナビゲーターを中心に、スタッフが直接学生の相談に対応するほか、必要に応じてアドバイザーや各学部の相談員との面談のセッティングを行っています。

4月7日の総合入試学生向けガイダンスで告知したところ、すぐに多くの相談が寄せられ、4月中に約200人の利用がありました。特に授業開始の週だけで100人を超える学生が訪れたので、スタッフは大忙しでした。

履修選択の時期が終わって5月に入ると利用者数は減少してきましたが、今後は進路選択の時期が近づくにつれて相談件数が再び増加すると予想しています。

これまでの相談内容は、「時間割の組み方」といった履修システム関係から「学部ごとの研究内容を知りたい」といったア

カデミックなものまで多岐にわたりますが、共通するのは学部移行後の進路を念頭に置いている点です。

例えば、「数学を履修しなくても進級できるようだが、後で困らないか?」という相談がありました。これに対しては、希望移行先を聞き、数学的な知識が必要な研究が多いようなので履修を勧め、履修に不安がある場合には学習サポートを利用するようにアドバイスしました。

相談者アンケートでは、「とても分かりやすく、親身になり、詳しく説明して頂けた」「相談することによって様々な分野の話、また分野間の話聞くことができた」「今後も続けていただけるとありがたい」など、好意的な意見が多く寄せられています。



学習サポートが好評

学習サポートは、主に1年生の主体的学習への支援としてASCが昨年より行っている取り組みです。

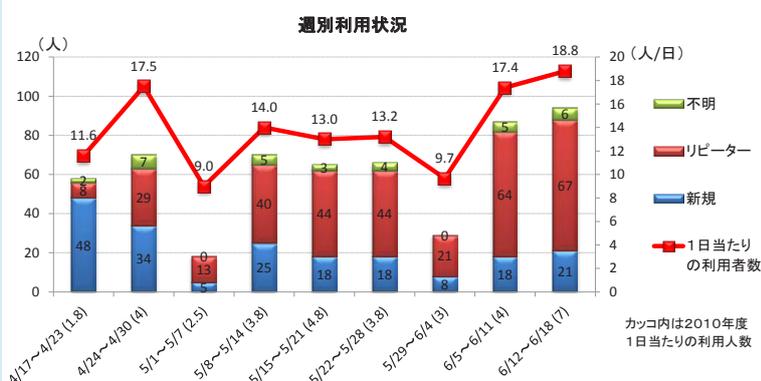
インストラクターを中心とするスタッフと、TA研修会を修了した大学院生チューターが、数学や理科、情報学や英語などに関する質問・相談に、正課外で個別に対応しアドバイスしています。時間割等の詳しい情報はASCのwebページをご覧ください。

今年度は4月18日から開始し、6月17日までの2ヶ月で553人の利用がありました。これは前年の同時期に比べると約3.5倍になります。利用者数はGWと大学祭の前後では減少していますが、6月の中間試験の時期は増加しており、期末試験の時期にはさらに多くの利用があると予想されます。

利用者のほとんどは1年生で、全体の約6割が総合入試理系の学生です。利用が最も多いのは数学で、次いで物理、化学となっています。基本的な問題だけでなく、問題の背景や応用に関わるものなど、幅広く質問が寄せられています。

学習サポート室には自習スペースもあり、また北図書館や生協への動線上にあるため、学生が利用しやすい環境が整っています。このことに加えて、総合入試が始まり学生の自習への意識が高まったことが、利用者数増加の大きな理由と考えています。

リピーターの数も多く、アンケートでは、「説明が丁寧でとても分かりやすかった」「教え方が上手!」といった声が寄せられるなど、好評を博しています。



学習サポート室 E211

スキルセミナーを開催

ASCでは、大学での学習の基礎となるスタディ・スキルのセミナーを、前年度に引き続き開催しました。5月17日から次の4テーマで行いました。

- ・ 第1回 ノートの取り方 + タイムマネジメント
- ・ 第2回 レポートの書き方
- ・ 第3回 情報リテラシー
- ・ 第4回 プレゼンテーションの方法

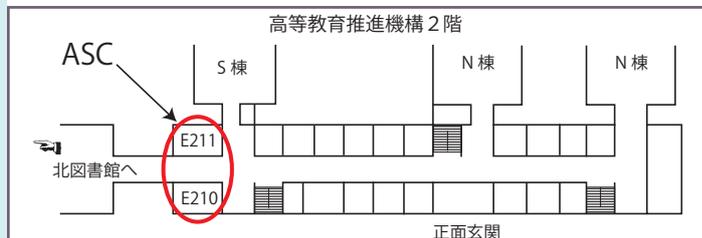
原則として、各テーマとも火曜と木曜の週2回ずつ、自由参加形式で行いましたが、時間割の都合等で参加できなかった学生にはさらに別の時間に個別に対応しました。参加総人数は約70人でした。

アンケートでは、「積極的にノートを取るようになりました」「授業の受け方を以前より意識するようになった」などの自己評価があり、学習法に対する意識改革につながっているようです。今後は開催時期やテーマに工夫をこらし、さらに多くの学生の利用を目指していきます。

ASCメンバー表

センター長		
川端 潤	農学研究院 教授	食品機能化学
アカデミック・アドバイザー		
望月 恒子	文学研究科 教授	ロシア文学
角 幸博	工学研究院 名誉教授	建築史意匠学
大畑 昇	歯学研究科 教授	冠橋義歯補綴学
アカデミック・ナビゲーター		
岡崎 裕剛	文学研究科 修了	日本語学
前田 展希	理学研究科 修了	理論物理学
アカデミック・インストラクター		
日吉 大輔	文学研究科 修了	哲学
斉藤 準	理学研究科 修了	素粒子物理学
アカデミック・アナリスト		
宮本 淳	地球環境科学研究科 修了	雪氷学
竹山 幸作	理学研究科 修了	物性物理学

スタッフやチューターなどに関する情報はwebページで公開していますのでご覧ください。



アカデミック・サポートセンター

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学 高等教育推進機構 2階
E210(相談) / E211(学習サポート)

T E L 011-706-7526
E-mail asc@high.hokudai.ac.jp
U R L http://asc.high.hokudai.ac.jp



2011年7月15日発行